



2026年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年1月9日

上場取引所 東福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 昌寛

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 コーポレート ブランディング本部長 (氏名) 林田 歩 TEL 093-588-3076

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
2026年2月期第3四半期	百万円 395,227	% 0.4	百万円 33,195	% △3.3	百万円 35,058	% △44.3	百万円 26,489	% △42.4
2025年2月期第3四半期	393,689	△7.2	34,313	△26.3	62,990	30.1	46,004	30.2

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
2026年2月期第3四半期	百万円 25,544	% △43.8	百万円 50,861	% 19.7	円 銭 98.49		円 銭 98.38	
2025年2月期第3四半期	45,484	30.7	42,501	△15.1	174.22		174.03	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
2026年2月期第3四半期	百万円 796,567		百万円 472,696		百万円 463,224		% 58.2	
2025年2月期	743,774		439,610		431,188		58.0	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 34.00	円 銭 —	円 銭 34.00	円 銭 68.00	
2026年2月期	—	34.00	—	—	—	
2026年2月期 (予想)				34.00	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
通期	百万円 525,000	% △2.4	百万円 48,000	% △4.3	百万円 50,500	% △35.6	百万円 37,000	% △35.1	円 銭 142.66	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト (<https://www.yaskawa.co.jp>) に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年2月期3Q	266,690,497株	2025年2月期	266,690,497株
2026年2月期3Q	7,322,751株	2025年2月期	7,344,219株
2026年2月期3Q	259,358,014株	2025年2月期3Q	261,077,534株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2026年1月9日（金）に証券アナリスト・機関投資家向けオンライン決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

①2026年2月期第3四半期連結累計期間(2025年3月1日～2025年11月30日)の経営成績

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営環境は、地政学的リスクや米国の関税政策などにより総じて不透明な状況が継続しました。そのような中、上期に堅調な需要が見られた国内電子部品市場に加え、グローバルの半導体市場もAI関連の投資がけん引する形で、期の後半から徐々に回復が見られました。また、中国・韓国の自動車市場における設備投資需要は引き続き堅調に推移し、一般産業分野における自動化需要もグローバルで底堅く推移しました。一方、日本・米州・欧州の自動車市場における設備投資需要は、関税影響などにより軟調に推移しました。

このような環境において当社グループの売上収益は、新規受注を確実に売上につなげたことで、受注残の正常化を進めた前年同期を上回る結果となりました。営業利益については、モーションコントロールセグメントにおいて付加価値改善が寄与したもののロボットセグメントにおける売上案件のミックスの影響などにより、前年同期に比べ減益となりました。なお、売上収益・営業利益ともにほぼ想定通りの着地となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、煙台東星磁性材料股份有限公司の株式の一部譲渡に伴う株式譲渡益および残存株式の再評価益を計上した前年同期に比べて減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

	2025年2月期 第3四半期連結累計期間	2026年2月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売 上 収 益	3,936億89百万円	3,952億27百万円	+0.4%
営 業 利 益	343億13百万円	331億95百万円	△3.3%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	454億84百万円	255億44百万円	△43.8%
米 ド ル 平 均 レ ー ト	152.19円	147.91円	△4.28円
ユ ー ロ 平 均 レ ー ト	165.08円	169.38円	+4.30円
中 国 人 民 元 平 均 レ ー ト	21.12円	20.58円	△0.54円
韓 国 ウ オ ン 平 均 レ ー ト	0.112円	0.105円	△0.007円

なお、当第3四半期連結累計期間における当社グループの地域別の経営環境は以下のとおりです。

日本： 上期に需要が顕在化した電子部品市場に加え、半導体市場の需要も回復の兆しが見られました。一方、自動車市場における設備投資需要は低調に推移しました。

米 州： 半導体関連需要が緩やかに回復し、データセンター向けを含む空調関連などの需要も堅調に推移しました。また、原油価格下落の影響によりオイル・ガス関連市場の設備投資需要は低調に推移する中、来年度以降の業績に寄与する大口受注を獲得しています。

欧 州： 一般産業においては回復の兆しが見られ、自動化需要は堅調に推移しました。一方、自動車市場においては潜在的な需要があるものの、設備投資は伸び悩みました。

中 国： 半導体関連需要が増加したほか、自動車市場や一般産業分野における自動化需要も底堅く推移しました。

中国除くアジア：韓国・台湾における半導体関連需要が回復基調となり、韓国の自動車市場やアセアンにおける一般産業分野の自動化需要も底堅く推移しました。

②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	1,708億53百万円	(前年同期比	△4.2%)
	営業損益	163億79百万円	(前年同期比	+2.4%)

モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。

売上収益は、受注残の正常化を進めた前年同期に比べ減収となったものの、日本のACサーボモータおよび米国のインバータの売上が好調に推移し、セグメントとしてはほぼ想定通りの着地となりました。利益面については、付加価値の改善や間接費の抑制を進め増益となりました。

[ACサーボモータ・コントローラ事業]

上期に需要が低調に推移したことから米州・アジアの半導体市場向けの販売が減少したものの、日本の電子部品市場向けを中心に販売が増加したことから、全体の売上収益は微増となりました。

[インバータ事業]

米国において太陽光発電用パワーコンディショナや空調用途向けの販売が堅調に推移した一方、オイル・ガス用途向けの販売は減少しました。これらの結果に加え、前年同期に受注残の正常化を進めた影響もあり、減収となりました。なお、オイル・ガス用途向けでは、今後の業績に寄与する大口受注を獲得しています。

ロボット	売上収益	1,830億38百万円	(前年同期比	+7.3%)
	営業損益	154億84百万円	(前年同期比	△3.9%)

自動車市場においては、日本・米州・欧州は関税影響により設備投資が低調に推移したものの、中国と韓国での大口案件の売上が寄与しました。また、一般産業分野における設備投資需要をグローバルで捉えた結果、売上収益は前年同期比で増加しました。営業利益については売上案件のミックスの影響により減益となりました。なお、売上収益・営業利益ともにほぼ想定通りの着地となりました。

システムエンジニアリング	売上収益	268億15百万円	(前年同期比	△3.5%)
	営業損益	27億30百万円	(前年同期比	△9.6%)

主力の鉄鋼プラントや港湾クレーン、社会システム向けの販売がそれぞれ微減となり、売上収益は前年同期に比べ減少しました。営業利益についても、売上減少に伴う利益減の影響などで減益となりましたが、売上収益・営業利益ともに想定通りの着地となりました。

その他	売上収益	145億19百万円	(前年同期比	△14.9%)
	営業損益	13億91百万円	(前年同期比	+34.8%)

その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。

売上収益は減少しましたが、営業利益はその他の収益の増加などにより前年同期比で増加しました。

(2) 財政状態の概況

①資産、負債および資本の状況

(a) 資産 7,965億67百万円（前連結会計年度末比 527億92百万円増加）

現金及び現金同等物が減少したものの、棚卸資産や契約資産の増加等により、流動資産が前連結会計年度末に比べ102億35百万円増加しました。また、有形固定資産やその他の金融資産ならびに無形資産等の増加により、非流動資産が前連結会計年度末に比べ425億56百万円増加しました。

(b) 負債 3,238億70百万円（前連結会計年度末比 197億6百万円増加）

社債の非流動負債からの振替えや短期借入金、その他の金融負債の増加等により、流動負債が前連結会計年度末に比べ416億21百万円増加しました。一方、社債及び借入金の流動負債への振替え等により、非流動負債が前連結会計年度末に比べ219億15百万円減少しました。

(c) 資本 4,726億96百万円（前連結会計年度末比 330億86百万円増加）

利益剰余金やその他の資本の構成要素等が増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は437億21百万円（前連結会計年度末比 153億7百万円減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期利益に減価償却費を加えた収入等から、法人所得税の支払等を差し引き、315億15百万円の収入（前年同期比 88億98百万円の収入減）となりました。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入等があったものの、有形固定資産及び無形資産の取得による支出等により、357億7百万円の支出（前年同期比 267億80百万円の支出増）となりました。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金が増加したものの、配当金の支払いや長期借入金の返済等により、136億円の支出（前年同期比 145億18百万円の支出減）となりました。

※営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは41億91百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想については、地政学的リスクや米国の関税政策などにより不透明な状況の中、足元では需要の回復が見られるものの、第3四半期連結累計期間の進捗は想定通りであるため、2025年10月3日公表の予想を据え置きます。

なお、2025年12月1日から2026年2月28日までの期間における平均為替レートについては、2025年4月4日に公表いたしました想定レートからの変更はありません。（1ドル=145.00円、1ユーロ=160.00円、1元=20.00円、1ウォン=0.110円）また、年間配当予想についても変更はありません。

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	59,028	43,721
営業債権	153,740	159,201
契約資産	23,097	31,202
棚卸資産	206,259	216,906
その他の金融資産	4,286	2,333
その他の流動資産	16,425	19,707
流動資産合計	462,837	473,073
非流動資産		
有形固定資産	129,069	158,420
のれん	7,144	7,372
無形資産	23,608	28,121
使用権資産	15,649	15,879
持分法で会計処理されている投資	4,373	4,925
その他の金融資産	74,735	82,563
繰延税金資産	11,377	10,701
その他の非流動資産	14,978	15,508
非流動資産合計	280,937	323,493
資産合計	743,774	796,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	59,112	60,297
社債及び借入金	24,519	54,791
未払法人所得税	3,517	2,683
リース負債	3,373	3,568
その他の金融負債	4,702	10,078
引当金	2,227	2,013
契約負債	43,731	46,106
その他の流動負債	38,320	41,587
流動負債合計	179,505	221,127
非流動負債		
社債及び借入金	71,175	49,025
リース負債	10,459	10,322
その他の金融負債	0	—
退職給付に係る負債	27,535	27,554
繰延税金負債	8,244	7,143
引当金	1,416	1,529
その他の非流動負債	5,828	7,169
非流動負債合計	124,659	102,743
負債合計	304,164	323,870
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	29,817	29,853
利益剰余金	348,003	358,120
自己株式	△31,702	△31,609
その他の資本の構成要素	54,508	76,297
親会社の所有者に帰属する持分合計	431,188	463,224
非支配持分	8,421	9,472
資本合計	439,610	472,696
負債及び資本合計	743,774	796,567

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上収益	393,689	395,227
売上原価	△254,636	△256,311
売上総利益	139,052	138,915
販売費及び一般管理費	△105,607	△107,456
その他の収益	1,060	2,499
その他の費用	△193	△762
営業利益	34,313	33,195
金融収益	1,543	3,717
金融費用	△2,288	△2,217
持分法による投資損益	2,645	363
関連会社投資に係る売却及び評価損益	26,777	—
税引前四半期利益	62,990	35,058
法人所得税費用	△16,986	△8,568
四半期利益	46,004	26,489
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	45,484	25,544
非支配持分	519	944
合計	46,004	26,489
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	174.22	98.49
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	174.03	98.38

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
四半期利益	46,004	26,489
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融	2,025	5,276
資産の純変動額	△278	△153
確定給付制度の再測定額	△1	32
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1,745	5,155
合計		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△5,291	19,260
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	43	△44
合計	△5,248	19,216
その他の包括利益合計	△3,502	24,372
四半期包括利益合計	42,501	50,861
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	42,180	49,402
非支配持分	321	1,458
合計	42,501	50,861

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2024年3月1日残高	30,562	29,237	305,116	△22,491	56,914	399,338	8,679	408,018
四半期利益	—	—	45,484	—	—	45,484	519	46,004
その他の包括利益	—	—	—	—	△3,304	△3,304	△198	△3,502
四半期包括利益合計	—	—	45,484	—	△3,304	42,180	321	42,501
自己株式の取得	—	—	—	△9,400	—	△9,400	—	△9,400
自己株式の処分	—	17	—	177	—	194	—	194
剰余金の配当	—	—	△17,253	—	—	△17,253	△470	△17,723
株式報酬取引	—	71	—	—	—	71	—	71
支配継続子会社に対する持分変動	—	△4	—	—	—	△4	△4	△9
その他の資本の構成要素から利益	—	—	2,568	—	△2,568	—	—	—
剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	514	—	—	—	514	—	514
所有者との取引額等合計	—	599	△14,685	△9,223	△2,568	△25,877	△474	△26,352
2024年11月30日残高	30,562	29,837	335,915	△31,714	51,041	415,641	8,526	424,167

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2025年3月1日残高	30,562	29,817	348,003	△31,702	54,508	431,188	8,421	439,610
四半期利益	—	—	25,544	—	—	25,544	944	26,489
その他の包括利益	—	—	—	—	23,858	23,858	513	24,372
四半期包括利益合計	—	—	25,544	—	23,858	49,402	1,458	50,861
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	△6	—	95	—	88	—	88
剰余金の配当	—	—	△17,637	—	—	△17,637	△408	△18,045
株式報酬取引	—	44	—	—	—	44	—	44
支配継続子会社に対する持分変動	—	△1	—	—	—	△1	—	△1
その他の資本の構成要素から利益	—	—	2,069	—	△2,069	—	—	—
剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	139	—	—	139	—	139
所有者との取引額等合計	—	36	△15,427	93	△2,069	△17,367	△408	△17,775
2025年11月30日残高	30,562	29,853	358,120	△31,609	76,297	463,224	9,472	472,696

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	62,990	35,058
減価償却費、償却費及び減損損失	15,456	15,585
持分法による投資損益（△は益）	△2,645	△363
金融収益及び金融費用（△は益）	△316	△2,460
関連会社投資に係る売却及び評価損益（△は益）	△26,777	—
営業債権の増減額（△は増加）	13,222	3,221
棚卸資産の増減額（△は増加）	△10,701	△706
営業債務の増減額（△は減少）	△5,642	△2,082
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	85	△336
引当金の増減額（△は減少）	△90	△505
その他	3,685	△6,286
小計	49,267	41,123
利息及び配当金の受取額	5,042	3,835
利息の支払額	△1,014	△1,079
法人所得税の支払額	△12,881	△12,363
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,413	31,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	△5
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△25,650	△37,221
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	380	893
投資有価証券等の取得による支出	△438	△4,923
投資有価証券等の売却及び償還による収入	6,897	4,006
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	11,082	—
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△233	1,854
その他	△955	△310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,926	△35,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,482	19,538
長期借入れによる収入	15,002	13
長期借入金の返済による支出	△11,123	△12,160
リース負債の返済による支出	△3,359	△2,917
自己株式の取得による支出	△9,400	△1
配当金の支払額	△17,275	△17,658
非支配持分への配当金の支払額	△470	△408
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△9	—
その他	0	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,119	△13,600
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,368	△17,792
現金及び現金同等物の期首残高	40,279	59,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	2,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,642	43,721

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、モーションコントロール、ロボット、システムエンジニアリングの3つの事業単位を基本に組織が構成されており、各事業単位で日本および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部別のセグメントから構成されており、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の3つを事業セグメントおよび報告セグメントとしております。

「モーションコントロール」は、ACサーボモータ、制御装置およびインバータの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。「ロボット」は、産業用ロボット等の開発、製造、販売および保守サービスを行っております。「システムエンジニアリング」は、産業用オートメーションドライブおよび社会システムの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表に適用している会計方針と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部売上収益または振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失

前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結計
	モーションコントロール	ロボット	システムエンジニアリング	計				
売上収益								
外部顧客への売上収益	178,317	170,517	27,797	376,632	17,057	393,689	—	393,689
セグメント間の内部売上収益または振替高								
セグメント間の内部売上収益または振替高	12,446	2,759	573	15,779	11,609	27,389	△27,389	—
合計	190,763	173,277	28,371	392,412	28,666	421,079	△27,389	393,689
営業利益	15,994	16,117	3,020	35,132	1,032	36,165	△1,852	34,313
金融収益								1,543
金融費用								△2,288
持分法による投資損益								2,645
関連会社投資に係る売却及び評価損益								26,777
税引前四半期利益								<u>62,990</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等の事業が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△1,852百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各セグメントに配分していない全社収益および費用△1,899百万円が含まれております。その主な内訳は、報告セグメントに帰属しない基礎研究等に係る費用および全社費用配賦差額であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結計
	モーションコントロール	ロボット	システムエンジニアリング	計				
売上収益								
外部顧客への売上収益	170,853	183,038	26,815	380,707	14,519	395,227	—	395,227
セグメント間の内部売上収益または振替高	13,729	1,338	367	15,435	12,931	28,366	△28,366	—
合計	184,582	184,376	27,183	396,142	27,451	423,594	△28,366	395,227
営業利益	16,379	15,484	2,730	34,595	1,391	35,987	△2,791	33,195
金融収益								3,717
金融費用								△2,217
持分法による投資損益								363
関連会社投資に係る売却及び評価損益								—
税引前四半期利益								35,058

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等の事業が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△2,791百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各セグメントに配分していない全社収益および費用△2,846百万円が含まれております。その主な内訳は、報告セグメントに帰属しない基礎研究等に係る費用および全社費用配賦差額であります。